



ボッチャ (BOCCIA)



<p>ボッチャとは</p>	<p>ヨーロッパ生まれのパラリンピック正式種目。 重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツです。 老若男女、障がいの有無にかぎらず、すべての人が一緒にプレイできるスポーツで、一般参加の大会などもあります。</p>
<p>起源・歴史</p>	<p>1988年の韓国・ソウルでのパラリンピックから正式種目に採用され、1994年の米国アトランタ大会から補助具を使って競技する WAD 種目が加えられるようになりました。 日本では 1996 年、国際ルールにそった競技会（千葉ボッチャ選手権大会）が、約 40 名(療護施設、作業所、在宅者などの重度脳性麻痺者)参加して開催されました。この頃から各地域でボッチャ競技が重度障がい者のスポーツとして少しずつ広まり始めました。</p>
<p>遊び方・ルール</p>	<p>ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ 6 球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。 障がいにより自分で投げるできない場合は勾配具（ランプ）を使うこともできます。</p>
<p>その他</p>	<p>コートのはさは、6m×12.5m 勾配具（ランプ）を使用する場合、それを動かしてもらおうアシスタントをつけることができますが、公平を期するためアシスタントはボールには背を向け選手の方のみを見て、指示通りに動かします。</p>



ジャックボール

